



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

ロータリアン 一歩 前へ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度
R.I.会長メッセージ

第1020回例会 2012年4月18日 No.991号

■ 会長時間



会長 南條 泰

ロータリーにはあれこれありますが何が一番大事でしょうか？ロータリーは皆の為になるかどうかが一番大事な事ではないでしょうか。そうした中で、雑学的に面白い情報がありましたのでお伝えします。

戦後日本に進駐軍がやってきました。その最高司令官はマッカーサー元帥でした。その彼は東京ロータリークラブの名誉会員でした。出席は奉仕活動でしょうか。出席が即ち職業奉仕の一つと言われております。例会は以前二週間に一回の時がありました。1922年に週一回になりました。東京クラブが出来たころは一月に一回でした。なぜ、週に一回になったのか。それは「人間には徳という習慣を身に付けなければならない」との考えから、奉仕を習慣にしようと思うと2週間に一度より1週間の方が身に付くからです。だから、例会を休むという事は、自分に与えられた職業分類に対して、横着であるとなるのです。ロータリーの公式標語はなんでしょうか？「最も奉仕する者、最も多く報いられる。超私の奉仕。」これが公式標語となります。次にロータリーの友を贈入しないはロータリアンの資格はありません。それでは、地区協議会に出席する会長、幹事にはクラブより実際の旅費、日当を支払ってもいいか、払っても良いとなっております。名誉会員はクラブの会長になれますか？なれません。クラブ会長は一回以上地区大会に出席した者でなければならない。地区大会は二日位ありますがメーキャップは一回でしょうか。まじめに地区大会に出られると二回分となります。ロータリー例会の魅力はどうすれば出るものだろうか。その一つに、例会は「皆がやさしいこと、決まりは守ること、素朴であること」だそうです。意味は大変広いです。私達はロータリーの学者になるのではなく、ロータリーの身についたロータリアンになろうと言われております。これらは佐伯バスターガバナーの言葉であります。

心ゆたかなロータリアン、一歩前へ

今回の例会(4月25日)

クラブフォーラム

次回の例会(4月29日)

早朝例会

(於: 広島カントリー倶楽部西条コース)

出席報告(渡部幹事)

4月18日(水)出席者

会員総数	39名
出席会員	32名
欠席会員	7名
ご来賓	1名
ご来客	4名
ゲスト	0名

来客者紹介(南條会長)

4月18日(水)出席者

広島RC	1名
広島南RC	2名
広島北RC	1名

幹事報告(渡部幹事)

■出席報告

■例会変更

- ・広島西南RC 5月1日(火)「休会」
- ・広島安芸RC 5月1日(火)「休会」
- ・広島東RC 5月2日(水)「休会」

■お知らせ

- ・4/29開催の広島14RC合同懇親ゴルフ大会の当日スケジュール表をBOX配布していますので、ご確認下さい。
- ・同大会の準備会議を4/25例会終了後に行います。該当の方にご案内をBOX配布していますので、ご出席をお願いします。
- ・5月23日開催の在広・大竹RC新旧引継正副会長幹事会のご案内を該当の方へBOX配布していますので、ご出欠の回答を事務局までお願いします。

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】南條 泰

【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】渡部 邦昭

【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【FAX】082-221-4870

来 賓 卓 話

女性陶芸家 **稲留 清彩** 様
(いなとめ せいさい)

広島空港に近い三原市で個展を中心とした作家活動をしています。陶芸に携わる要素が何もなかった自分が陶芸家になった経緯から話します。

陶芸に出会ったのは30数年前、広島市の社会教育施設で嘱託をしていた頃。そこで青年対象の陶芸教室が開設され、長年陶芸をされていた館長が指導にあられた。その館長が退職される時講師として私を任命されました。とは言え、私は陶芸を全く教わってなく、退職されるまでの二ヶ月程の短期間で必死で学んでいったのです。このような無謀とも思えるバトンタッチは館長の深い思いやりの心だったと思います。当時私は事故で夫を亡くし、娘二人を育てていかねばならない大黒柱でした。今では想像もつかない内向的で何の特技も無い私を気にかけて下さったのでしょう。このままで人生を終わりにたくない私の思いが陶芸をしっかりキャッチしたのだとも思います。



毎日時間をみつけては作陶する喜びは大きかった。二足のわらじを履いての15年間は充実していたが、もう一つの転機がやってきました。「生ぬるい。世に問うていない」との叱責。この叱責は私のあきらめていた夢を実現する方向へと向けてくれました。どの様な言葉も相手に対する愛情が無いと届きません。「言霊」の力です。40歳をはるかに越えていたが挑戦する事が楽しくてパワー全開できました。

土は生命体として世に存在した物の堆積。それを又形にして活かす事を考えると生命の大きなサイクルが見えてきます。どの生命もこのサイクルでの運命共同体であると思えば愛しくさえなります。

「水」をテーマに創り続けていますが、言葉では表せなかった自分の心が作品には表れてくるものです。岸を求めて流れ、岸は自分であればよいと気づき、その岸辺が人々の憩える場所になればと今思っています。人間の遺伝子には人を助ける事を嬉しく感じるものが組み込まれているのだと信じています。



.....SMILE BOX

石川貴与和 君

稲留先生、本日は楽しみにしています。

山本新太郎 君

4月9日に息子が名門のYMCA幼稚園に入園いたしました。皆様よろしく願います。特に、本日メーキャップでお越しの上久保昭二様どうぞよろしく願います。

当日計	2,000円	累計	755,189円
-----	--------	----	----------